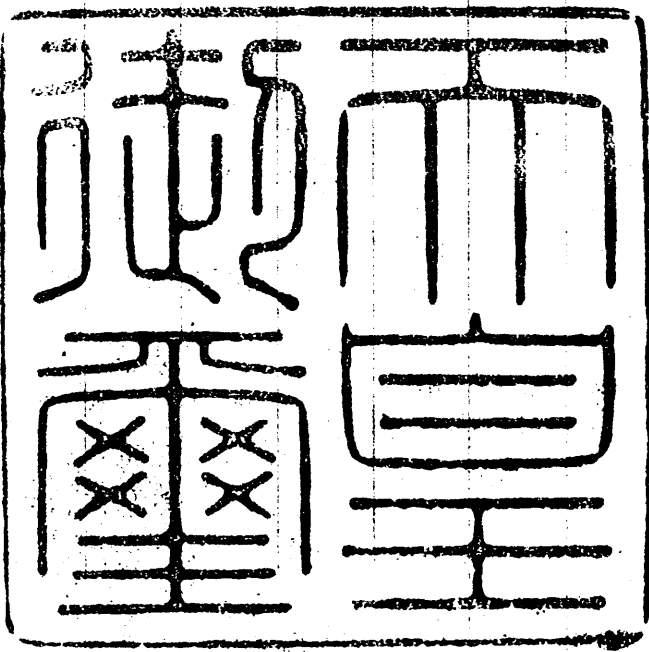


法律第七十七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル宗教團體法  
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十四年四月七日

日

内閣總理大臣男爵 平沼騏一郎  
 文部大臣男爵 荒木貞夫  
 内務大臣侯爵 木戸幸一  
 大藏大臣 石渡莊太郎

法律第七十七號

宗教團體法

第一條 本法ニ於テ宗教團體トハ神道教派、佛教宗派及基督教其ノ  
 ノ他ノ宗教ノ教團（以下單ニ教派、宗派、教團ト稱ス）並ニ寺院  
 及教會ヲ謂フ

第二條 教派、宗派及教團並ニ教會ハ之ヲ法人ト爲スコトヲ得  
 寺院ハ之ヲ法人トス

第三條 教派、宗派又ハ教團ヲ設立セントスルトキハ設立者ニ於テ  
 教規、宗制又ハ教團規則ヲ具シ法人タラントスルモノニ在リテハ  
 其ノ旨ヲ明ニシ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス  
 教規、宗制及教團規則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱
- 二 事務所ノ所在地
- 三 教義ノ大要
- 四 教義ノ宣布及儀式ノ執行ニ關スル事項
- 五 管長、教團統理者其ノ他ノ機關ノ組織、任免及職務權限ニ關スル事項
- 六 寺院、教會其ノ他ノ所屬團體ニ關スル事項
- 七 住職、教會主管者、其ノ代務者及教師ノ資格、名稱及任免其ノ他ノ進退並ニ僧侶ニ關スル事項
- 八 檀徒、教徒又ハ信徒ニ關スル事項
- 九 財産管理其ノ他ノ財務ニ關スル事項

十 公益事業ニ關スル事項

教規、宗制若ハ教團規則ヲ變更セントスルトキ又ハ法人ニ非ザル教派、宗派若ハ教團ガ法人タラントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第四條 教派及宗派ニハ管長ヲ、教團ニハ教團統理者ヲ置クベシ

管長又ハ教團統理者ハ教派、宗派又ハ教團ヲ統理シ之ヲ代表ス

管長又ハ教團統理者缺ケタルトキ、未成年ナルトキ又ハ久シキニ互リ職務ヲ行フコト能ハザルトキハ代務者ヲ置キ其ノ職務ヲ行ハシムベシ

管長、教團統理者又ハ其ノ代務者就任セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第五條 教派、宗派又ハ教團ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ合併又ハ解散ヲ爲スコトヲ得

第六條 寺院又ハ教團ハ設立認可ノ取消ニ因リテ解散ス  
則又ハ教會規則ヲ具シ第二項第五號ノ教會ヲ除クノ外豫メ管長又ハ教團統理者ノ承認ヲ經、法人タラントスル教會ニ在リテハ其ノ旨ヲ明ニシ地方長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス  
寺院規則及教會規則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 名稱

二 所在地

三 本尊、奉齋主神、安置佛等ノ稱號

四 所屬教派、宗派又ハ教團ノ名稱

五 教派、宗派又ハ教團ニ屬セザル教會ニ在リテハ前號ニ規定スル事項ニ代ヘ其ノ奉ズル宗教ノ名稱及教義ノ大要並ニ教師ノ資格、名稱及任免其ノ他ノ進退ニ關スル事項

六 教義ノ宣布及儀式ノ執行ニ關スル事項

七 住職、教會主管者其ノ他ノ機關ニ關スル事項

八 檀徒、教徒又ハ信徒及其ノ總代ニ關スル事項

九 本末寺及法類ニ關スル事項

十 財産管理其ノ他ノ財務ニ關スル事項

十一 公益事業ニ關スル事項

寺院規則若ハ教會規則ヲ變更セントスルトキ又ハ法人ニ非ザル教

會ガ法人タラントスルトキハ檀徒、教徒及信徒ノ總代ノ同意ヲ得  
前項第五號ノ教會ヲ除クノ外豫メ管長又ハ教團統理者ノ承認ヲ經、  
地方長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第七條 寺院ニハ住職ヲ、教會ニハ教會主管者ヲ置クベシ  
住職又ハ教會主管者ハ寺院又ハ教會ヲ主管シ之ヲ代表ス  
住職又ハ教會主管者缺ケタルトキ、未成年ナルトキ又ハ久シキニ  
互リ職務ヲ行フコト能ハザルトキハ代務者ヲ置キ其ノ職務ヲ行ハ  
シムベシ

第八條 寺院及教會ニハ檀徒、教徒及信徒ノ總代（以下單ニ總代ト  
稱ス）三人以上ヲ置クベシ  
總代ハ寺院又ハ教會ノ經營ニ關シ住職又ハ教會主管者ヲ扶ク

總代ノ選任及解任ハ住職又ハ教會主管者ヨリ之ヲ市町村長（市制  
第六條及第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ區長、町村制ヲ施行セ  
ザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキ者）ニ届出ツルコトヲ要ス

第九條 寺院又ハ法人タル教會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ寶物其ノ他  
不動産以外ノ重要ナル財産ニ付地方長官ニ於テ保管スル寺院財産  
臺帳又ハ教會財産臺帳ニ登録ヲ受クルコトヲ要ス

寺院財産臺帳又ハ教會財産臺帳ヲ閱覽シ又ハ其ノ謄本若ハ抄本ノ  
交付ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ請求スルコト  
ヲ得

第十條 寺院又ハ法人タル教會左ニ掲グル行爲ヲ爲サントスルトキ  
ハ總代ノ同意ヲ得第六條第二項第五號ノ教會ヲ除クノ外管長又ハ

教團統理者ノ意見書ヲ添へ、地方長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 不動産又ハ寺院財産臺帳若ハ教會財産臺帳ニ登録セラレタル財産ヲ處分シ又ハ擔保ニ供スルコト
- 二 借財又ハ保證ヲ爲スコト

前項ノ場合ニ於テ總代ノ同意ヲ得ルコト能ハザルトキハ住職又ハ教會主管者ハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ承認ヲ求ムルコトヲ得

第一項ニ規定スル事項ニ付地方長官ノ認可ヲ受ケズシテ爲シタル行爲ハ之ヲ無効トス

第一項ニ規定スル事項ニ付總代ノ同意ヲ得ズシテ爲シタル行爲ハ第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ承認ヲ得タル場合ヲ除クノ外之ヲ無効トス

前二項ノ場合ニ於テ相手方ガ善意無過失ナルトキハ其ノ行爲ヲ爲シタル住職又ハ教會主管者ハ相手方ノ選擇ニ從ヒ之ニ對シテ履行又ハ損害賠償ノ責ニ任ズ

第十一條 寺院又ハ教會ハ第六條第二項第五號ノ教會ヲ除クノ外豫メ管長又ハ教團統理者ノ承認ヲ經、地方長官ノ認可ヲ受ケテ合併又ハ解散ヲ爲スコトヲ得

寺院又ハ教會左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ地方長官ハ其ノ設立ノ認可ヲ取消スコトヲ得

- 一 堂宇又ハ會堂ノ滅失後五年内ニ其ノ施設ヲ爲サザルトキ
- 二 住職又ハ教會主管者及其ノ代務者ヲ缺クコト三年以上ニ及ブトキ

寺院又ハ教會ハ設立認可ノ取消ニ因リテ解散ス

第十二條 寺院ノ境内地ノ管理、境内地ノ區域ノ變更及境内建物ノ管理竝ニ教會ノ構内地ノ管理、構内地ノ區域ノ變更及構内建物ノ管理ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 法人タル宗教團體ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十四條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外宗教團體ノ合併及解散ノ場合ニ於ケル必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 民法第四十三條、第四十四條、第五十條、第五十一條第

一項、第五十四條、第五十七條及第七十三條乃至第八十三條竝ニ民法施行法第二十四條、第二十六條及第二十七條ノ規定ハ法人タル宗教團體ニ、民法第四十一條及第四十二條ノ規定ハ寺院及法人タル教會ニ付之ヲ準用ス但シ民法第五十七條ノ規定ノ準用ニ依ル特別代理人ノ選任ハ教規、宗制、教團規則、寺院規則又ハ教會規則ノ定ムル所ニ依ル

第十六條 宗教團體又ハ教師ノ行フ宗教ノ教養ノ宣布若ハ儀式ノ執行又ハ宗教上ノ行事ガ安寧秩序ヲ妨ゲ又ハ臣民タルノ義務ニ背クトキハ主務大臣ハ之ヲ制限シ若ハ禁止シ、教師ノ業務ヲ停止シ又ハ宗教團體ノ設立ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第十七條 宗教團體又ハ其ノ機關ノ職ニ在ル者法令又ハ教規、宗制、

教團規則、寺院規則若ハ教會規則ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スベキ  
行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ之ヲ取消シ、停止シ若ハ禁止シ  
又ハ機關ノ職ニ在ル者ノ改任ヲ命ズルコトヲ得  
教師法令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スベキ行爲ヲ爲シタルトキハ主  
務大臣ハ其ノ業務ヲ停止スルコトヲ得

第十八條 主務大臣ハ宗教團體ニ對シ監督上必要アル場合ニ於テハ  
報告ヲ徵シ又ハ實況ヲ調査スルコトヲ得

第十九條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ規定スル其ノ權  
限ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第二十條 第十一條第二項、第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依ル處  
分ニ對シ不服アル者ハ訴願ヲ爲スコトヲ得

第十一條第二項又ハ第十六條ニ規定スル設立認可ノ取消處分ヲ違  
法ニシテ之ニ依リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ  
出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ  
訴願ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十一條 宗教團體ニ於テ公衆禮拜ノ用ニ供スル建物又ハ其ノ敷  
地ニシテ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ經タルモノハ不動産ノ先取  
特權、抵當權若ハ質權ノ實行ノ爲ニスル場合又ハ破産ノ場合ヲ除  
クノ外其ノ登記後ニ原因ヲ生ジタル私法上ノ金錢債權ノ爲ニ之ヲ  
差押フルコトヲ得ズ寺院財産臺帳又ハ教會財産臺帳ニ登録セラレ  
タル寶物ニ付亦同ジ



第二十二條 宗教團體ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ所得稅ヲ課セズ  
寺院ノ境内地及教會ノ構内地ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ地租ヲ免  
除ス但シ有料借地ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ  
北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ宗教團體ノ所得ニ對シ  
地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第二十三條 宗教團體ニ非ズシテ宗教ノ教義ノ宣布及儀式ノ執行ヲ  
爲ス結社（以下宗教結社ト稱ス）ヲ組織シタルトキハ代表者ニ於  
テ規則ヲ定メ十四日內ニ地方長官ニ届出ツルコトヲ要ス届出事項  
ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

宗教結社ノ規則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 名稱

二 事務所ノ所在地

三 教義、儀式及行事ニ關スル事項

四 奉齋主神、安置佛等ノ稱號

五 組織ニ關スル事項

六 財産管理其ノ他ノ財務ニ關スル事項

七 代表者及布教者ノ資格及選定方法

第二十四條 宗教結社ノ代表者ハ其ノ結社ニ屬スル布教者ノ氏名及  
住所ヲ遲滯ナク地方長官ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ届出事項ニ變  
更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

第二十五條 第十六條乃至第十八條及第二十條第一項ノ規定ハ宗教  
結社又ハ其ノ代表者若ハ布教者ニ付之ヲ準用ス

第二十六條 教師又ハ布教者第十六條（前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル制限、禁止若ハ業務ノ停止又ハ第十七條第二項（前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル業務ノ停止ニ違反シタルトキハ六月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

宗教團體又ハ宗教結社ニ對シ第十六條（前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止アリタル場合ニ於テ當該宗教團體又ハ宗教結社ノ代表者其ノ他ノ機關ノ職ニ在ル者、教師又ハ布教者制限又ハ禁止アリタルコトヲ知リテ其ノ行爲ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同ジ

第二十七條 宗教結社ノ代表者第二十三條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サ

ズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條 法人タル宗教團體ノ代表者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二百圓以下ノ過料ニ處ス

一 第十三條第一項又ハ第十五條ニ於テ準用スル民法第七十七條ノ規定ニ依ル登記ヲ爲サザルトキ

二 第十五條ニ於テ準用スル民法第五十一條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ財産目録ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキ

三 第十五條ニ於テ準用スル民法第八十二條ノ規定ニ依ル裁判所ノ検査ヲ妨ゲタルトキ

四 第十五條ニ於テ準用スル民法第八十一條ノ規定ニ依ル破産宣告ノ請求ヲ爲サザルトキ

五 第十五條ニ於テ準用スル民法第七十九條又ハ第八十一條ノ規定ニ依ル公告ヲ爲サズ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ  
宗教團體又ハ宗教結社ノ代表者第十八條（第二十五條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ、虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ調査ヲ妨ゲタルトキ及宗教結社ノ代表者第二十四條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同ジ  
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附 則

第二十九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十條 明治六年太政官第二百四十九號布告、明治十年太政官第

四十三號布告及明治十七年太政官第十九號布達ハ之ヲ廢止ス

第三十一條 本法施行ノ際現ニ存スル教派又ハ宗派ハ之ヲ本法ニ依リ設立ヲ認可セラレタル法人ニ非ザル教派又ハ宗派ト看做シ其ノ管長ハ之ヲ本法ニ依ル管長ト看做ス

前項ノ教派又ハ宗派ハ本法施行後一年內ニ教規又ハ宗制ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス其ノ認可アル迄從前ノ教規又ハ宗制寺法ヲ以テ教規又ハ宗制ニ代用ス

第三十二條 本法施行ノ際現ニ寺院明細帳ニ登録セララル寺院ハ之ヲ本法ニ依リ設立ヲ認可セラレタル寺院ト看做シ本法施行ノ際現ニ存スル祠宇ハ之ヲ本法ニ依リ設立ヲ認可セラレタル法人タル教會ト看做ス

前項ノ寺院又ハ教會ハ本法施行後二年内ニ寺院規則又ハ教會規則ヲ定メ總代ノ同意ヲ得管長ノ承認ヲ經地方長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス其ノ寺院規則又ハ教會規則ノ認可アル迄ノ寺院又ハ教會ニ關シテハ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

地方長官前項ノ規定ニ依リ寺院規則又ハ教會規則ヲ認可シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記所ニ登記ノ囑託ヲ爲スベシ

第三十三條 本法施行前教會所、堂宇、會堂、説教所又ハ講義所ノ類トシテ設立ノ許可ヲ受ケタルモノニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ之ヲ本法ニ依リ設立ヲ認可セラレタル法人ニ非ザル教會ト看做ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ教會ニ付之ヲ準用ス

第三十四條 第三十二條第一項又ハ前條第一項ノ寺院又ハ教會ヲ主管シ之ヲ代表スル者ニシテ本法施行ノ際現ニ其ノ職ニ在ルモノハ之ヲ本法ニ依ル住職又ハ教會主管者ト看做シ其ノ檀徒總代又ハ信徒總代ニシテ本法施行ノ際現ニ其ノ職ニ在ルモノハ之ヲ本法ニ依ル總代ト看做ス

第三十五條 本法施行ノ際現ニ佛堂明細帳ニ登録セラルル佛堂ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本法施行後二年内ニ寺院ニ屬シ又ハ寺院若ハ教會ト爲ルコトヲ得其ノ寺院ニ屬セズ又ハ寺院若ハ教會ト爲ラザルモノノ處分ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ佛堂ニシテ寺院ニ屬セズ又ハ寺院若ハ教會ト爲ラザルモノニ付テハ本法施行後二年ヲ限り仍従前ノ例ニ依ル

第三十六條 本法施行ノ際現ニ存スル宗教結社ニ付テハ代表者ニ於テ宗教結社ノ規則ヲ定メ本法施行後十四日内ニ地方長官ニ届出ツルコトヲ要ス

前項ノ宗教結社ノ代表者前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 登録税法第二條及第三條ノ二中「寺院、祠宇、佛堂」ヲ「法人タル宗教團體」ニ改ム

同法第十九條但書中「第八號乃至第九號ノ四」ヲ「第二號ノ二、第八號乃至第九號ノ四」ニ改メ同條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 神社ノ敷地ニ關スル登記

二ノ二 寺院ノ境内地若ハ教會ノ構内地又ハ寺院若ハ教會ノ用ニ

供スル建物ニ關スル登記

二ノ三 墳墓地ニ關スル登記

第三十五條第一項ノ佛堂ニシテ寺院ニ屬セズ又ハ寺院若ハ教會ト爲ラザルモノノ不動産ニ關スル登記ニ付テハ前二項ノ改正規定ニ拘ラズ本法施行後二年ヲ限り仍従前ノ例ニ依ル